

社会福祉法人新潟しなの福祉会  
地域生活支援センター「ゆとりあ」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町7-1 東地区総合庁舎2F

TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail : yutoria@sweet.ocn.ne.jp

# ゆとりあん

★★★ ゆとりあ の お知らせ ★★★

6/18(土)は後援会のつどいの為、休館となります。

★★★ ゆとりあ の 6月の予定 ★★★

座 談 会 6/2(木) 13:00~14:00

## 女子会風 & 男子会風ランチ会の報告

4月26日(火)に女子会風ランチ会を、5月26日(木)に男子会風ランチ会を行いました！  
女子会風ランチ会ではメンバーさんは男性のみの参加となり、男子会風ランチ会では男性からも女性からもご参加があったという少し面白い結果となりました(^\_^)笑

初めて開催するランチ会でしたが、  
お店選びの時も当日もみなさん楽しんでいる様子が  
伺え、スタッフとしてもメンバーさんと楽しい時間を  
過ごすことができました♪♪

女子会風ランチ会  
店名「SALVATORE」



男子会風ランチ会「安兵衛」にて。  
とてもボリュームのある  
ラーメンです(笑)



## 5月の座談会報告

5月12日(木)に座談会が開催されました。

内容の一部をご報告いたします。

- ① 蒲原まつりについて  
→蒲原まつり応援部隊(ボランティア)を募集します。
- ② 後援会のつどいについて  
→プレゼンターを募集します。
- ③ 6月の行事募集  
→〇〇を楽しむ会、体を動かす機会を作る、ピア万代探索などの案が出ました。
- ④ お知らせとして、温もりハウス主催(バーベキュー大会)のご案内がありました。

その他、今後のゆとりあの活動について様々な  
ご意見が挙がりました。

## 蒲原祭りのご案内

6月30日、7月1日、2日に蒲原祭りがおこなわれます。

ゆとりあとしては7月2日(土)に応援部隊としてボランティア活動(ゴミ拾い等)を行い、その後お祭りに参加する予定です。現在応援部隊を募集していますので、興味のある方はお気軽にスタッフにお尋ねください。

また、当日ゆとりあは休館の予定です。  
詳細が決まり次第またお知らせします。



# 後援会のつどいのご案内

日時:平成28年6月18日(土)

13:30~16:00

場所:新潟市万代市民会館 多目的ホール(6階)

電話:025(246)7711



※第1部 13:45~ 講演

## 「おもしろ事件百科」(60分)

講師 弁護士法人 新潟第一法律事務所  
特別相談役 今井 誠

※第2部 15:00~

## みんなで楽しむ音楽会

・ハーモニカ合奏(25分)

出演:シャイニング・スターズ

・みんなで一緒に歌いましょう!(25分)

進行:阿部 光子



初夏。田「言葉」...

★主のコラム

★

田「言葉」、山木トトギス、初鰹」といふ言葉が似合う季節。やすらぎ堤を歩く小生も思わず心浮きたち足取りが軽い。しかし、きこえないスキップでは、どこか異音でも悪いのと同かくそいで試してはいない。信濃川には、悠々と泳ぐ桜マスの大きな魚影。こつした初夏の風景に目を奪われ、慌し費し出勤の足も鈍りがちである。

震災で大変な熊本だが、特産の西瓜がお店に有ったので協力したいと買ってみた。昔お世話になった熊本の風景が思ひ出されて、ほろ苦くもあり、じつと甘く、頂けました。

最近の店主は、ぼろぼろと「あ、あ、あ」と泣き来り、帳面を睨め「こつがもつぼろである。儲かっている」と叫ぶのを難し顔で返すあたり敵しいのだろう。そんな店主に、初物は、長生きするとか、初鰹なんかは絶好な肴だね」と振れば、泡の季節で期間限定に、は田が無さうかと、転々としたで起きるこつにはな。



## 新潟しなの福社会 夏祭り開催のお知らせ

おかげさまで毎年恒例となりました「新潟しなの福社会夏祭り」を今年は8月27日(土)に開催いたします。

各施設による模擬店、関係施設などによる出展、喫茶あどばんすの営業などなど...

楽しいイベントを現在企画中ですので是非お楽しみに(^)

### ☆リサイクルバザーにご協力ください☆

今年もリサイクルバザーを行います。ご家庭に眠っている日用雑貨、書籍、贈答品などがございましたらご連絡ください。売り上げは新潟しなの福社会の運営に使わせて頂きます。(※食品、衣料品はご遠慮ください)

### ツアー考え中

新潟市では精神科医療・福祉・行政関係者などを対象に毎年「社会資源見学ツアー」を実施していて、今年度も秋頃の開催を目指して目下企画を進めています。精神科病院に長期間入院している方が地域での生活に戻るため、地域で生活する精神障がいを持つ方の暮らしがより良いものになるために、実際に色々な支援の現場を見学し、関係機関のお互いの理解を深めようというのがこのツアーの目的です。

以前にもこのコーナーでツアーについて紹介したことがありました。あれから回を重ねるにつれて、ただ見学して終わりではなく「各参加者の立場からの意見交換の場を持ちたい」「参加した他職種との交流の機会が欲しい」といった意見が聞かれるようになりました。これまでそれぞれの持ち場で個々に活動していた支援者同士が、積極的に繋がりたい、お互いを知りたい、と感じるようになってきているようです。そこで、今回のツアーの試みとして、そういった情報交換の場も設けたいと考えています。目標を同じくする仲間が増えるというのは、とても心強いものです。

にのみや